



02 行政改革の進捗状況をお知らせします

本市では、行財政運営の効率化や質の向上を図るため、市役所内部の改革や市民サービスの再構築を進めています。「第4次田原市行政改革大綱」(改革期間:令和2年度~6年度)の進捗状況をお知らせします。

【令和3年度に進捗のあった主な項目】

- 渥美半島観光ビューローの自立支援(令和3年11月から一般社団法人化)
- 新規財源などの確保(有料広告の拡充、不用財産(土地)の売却など)
- キャッシュレスに対応した電子納付の推進(令和3年10月から市税などの一部を対象に電子マネー決済を導入)
- 保育園の適正化・民営化(令和4年度から「あかばねこども園」開園)



▲今年度開園したあかばねこども園

【今後取り組む主な項目】

- 公共施設の適正化の推進(施設の統廃合・複合化、長寿命化対策、維持管理コストの削減)
- プール施設のあり方の検討(学校プールの集約化)
- 水道料金・農業集落排水処理施設使用料の見直し



▲取り組みが始まっているプール施設のあり方検討(民間プール利用の検証)



◀市HP

▶企画課 ☎23-3507

～渥美半島を元気に!～

山下市長の元気通信



懐かしい時代の息吹にふれて

このほど刊行された『渥美半島の昭和-57編の手記から蘇る30年代』を読みました。「渥美半島の昭和を記す会」の元教員有志3名が市内の43人に書いてもらった手記と、当時の写真で構成されています。

昭和30年代の日本は高度成長が始まり、生活のさまざまな場面が新しく変わっていった時代でした。

本書には、そんな時代の渥美半島の人たちの生活が生き生きと書かれており、昭和30年に小学校入学の私にも、懐かしいこと、知らなかったことなど多くの発見がありました。続編の予定があるとのこと、楽しみです。

03 国内でも3例目!珍しいトゲナナフシの雄を発見!

専門家も驚く珍しいトゲナナフシの雄を発見した森下泰成さんが、市長と教育長を表敬訪問しました。

森下さんは、小学1年生の時にトゲナナフシの雌を手に入れて以来、約500匹をふ化させてきました。トゲナナフシは、雌が単独で繁殖するのが特徴ですが、今年6月頃、雄と思われる単体を発見し、岐阜県の博物館に相談しました。そこで、鑑定が行われ、雄と分かったそうです。

昆虫だけでなく、魚にも詳しい森下さんは、「研究は一生続けていきたい」と熱く語り、山下市長も「将来が楽しみ」と激励しました。



▲(左から)山下市長、森下泰成さん、鈴木教育長

▲トゲナナフシ:草食性の昆虫。体中のトゲが特徴で、雌だけで増える単為生殖で知られる。

▶学校教育課 ☎23-3679